



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちよつとずつ、つづやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぼやき…。

職員室には、さまざまな部屋や倉庫のカギがかかっています。子どもたちは、体育やそうじの時などに使うカギを取りにきます。

「〇ねん〇くみ〇〇です。〇〇のカギをとりにきました。」

カギを借りる時の合言葉です。

高学年は慣れたもので、手際よく借りていきます。

小さな子たちは、おそらくみんなでやりたいのでしょうか。5・6人が順にクラスと名前と目的を言うので、時間がかかります。高学年のように、場数を踏んで慣れてくださいね。

初任者研修

本校では、今年度二人の若者が教師としての第一歩を踏み出しました。爽やかな二人です。(私は採用が遅かったので、爽やかさのない新人でした…)応援したくなります。

研修のお題は、「教師としての心構え」など。ちょっと悩みましたが、まずは一般的なお話から。

話していくうちに、想い出話になり、失敗談になり…、不安にさせてしまったかもしれません。反省です。

最終的に、学級づくりは教師の最大の魅力という結びになりました。私は今でも、ずーっと学級担任の頃が本当に幸せだったと思っています。たいへんなこともたくさんありますが、新人の二人には、同じ幸せをたくさん味わってほしいと思います。

全国学力学習状況調査



4月17日は、全国学状の日でした。平成19年度から始まったこの調査は、国全体の学力の状況について経年変化を把握・分析して今後の教育施策に役立てるものです。

6年生が半日かけて、国語・算数・理科の調査に取り組みました。調査、といっても、子どもたちからすればテストです。しかも、いつもとは問題用紙も回答用紙も違います。教室の壁に掲示してあるものは、漢字などが見えないように全て裏返しにするか、外されます。初めて感じる緊張感ではないでしょうか。

例年は、国語と算数の二教科ですが、3年に一度、理科が加わり三教科になります。今年は当たり年です。理科の時間はさすがに疲れが見える子もいました。6年生、よくがんばりました。おつかれさま。

子どもたちも大変ですが、問題を作成するかたも本当に大変だと毎年感じます。

私も全国版ではありませんが、調査問題を作成したことがあります。国語を担当しましたが、問題一つ作るのにも、さまざまな条件があり苦労しました。小学生の問題だからと言って、簡単に作れるものではありません。担当者のご苦労に敬意を表します。

コミスク